

「パートナーシップ構築宣言」

当社は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携

直接の取引先を通じてその先の取引先に働きかける（「Tier N」から「Tier N+1」へ）ことにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。その際、災害時等の事業継続や働き方改革の観点から、取引先のテレワーク導入や BCP（事業継続計画）策定の助言等の支援も進めます。

（個別項目）a. 企業間の連携（オープンイノベーション、M&A 等の事業承継支援 等）

- 特色ある飼料（例：スペイン産オリーブ）の共同開発や安定調達のため、国内外の飼料供給業者や研究機関との連携を強化します。
- 地域の食品加工業者やレストラン等と連携し、「湘南ポーク オリーブプレミアム」を使用した新商品の開発や販路拡大に共同で取り組みます。
- 生産技術の向上やブランド価値向上のため、他の優良畜産農家や関連団体との情報交換・技術交流を積極的行います。

• b. IT 実装支援（共通 EDI の構築、データの相互利用、IT 人材の育成支援、サイバーセキュリティ対策の助言・支援 等）

- オンラインショップ運営のノウハウや、SNS を活用した情報発信（Facebook、Instagram の活用など）に関する知見を、連携する小規模な取引先や地域の事業者にも共有し、IT 化を支援します。
- 生産から販売（オンラインショップ含む）に至るまでのトレーサビリティシステム構築を検討し、サプライチェーン全体の透明性と信頼性向上を図ります。

• d. グリーン化の取組（脱・低炭素化技術の共同開発、省エネ診断に係る助言・支援、生産工程等の脱・低炭素化、グリーン調達 等）

- オリーブ（飼料）のような植物由来の資源を持続的に利用するための調達体制を構築し、環境負荷の低減に努めます。
- 糞尿の堆肥化などによる資源循環型農業を推進するとともに、省エネルギー型設備の導入や再生可能エネルギーの活用を検討し、生産工程における環境負荷を低減します。
- 環境に配慮した飼育方法や商品パッケージの開発を取引先と共同で進め、グリーン調達を推進します。
-

2. 「振興基準」の遵守

親事業者と下請事業者との望ましい取引慣行（下請中小企業振興法に基づく「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行の是正に積極的に取り組みます。

①**価格決定方法** 不合理な原価低減要請を行いません。取引対価の決定に当たっては、下請事業者と少なくとも年に1回以上の協議を行うとともに、下請事業者の適正な利益を含み、下請事業者における労働条件の改善が可能となるよう、十分に協議して決定します。その際、「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」に掲げられた行動を適切にとった上で決定します。また、原材料費やエネルギーコストの高騰があった場合には、適切なコスト増加分の全額転嫁を目指します。なお、取引対価の決定を含め契約に当たっては、契約条件の書面等による明示・交付を行います。

③**手形などの支払条件** 下請代金は可能な限り現金で支払います。手形等で支払う場合には、割引料等を下請事業者の負担とせず、また、支払サイトを60日以内とします。

④**知的財産・ノウハウ** 「知的財産取引に関するガイドライン」に掲げられている「基本的な考え方」や、「契約書ひな形」を踏まえて取引を行い、片務的な秘密保持契約の締結、取引上の立場を利用したノウハウの開示や知的財産権の無償譲渡などは求めません。（ブランド「湘南ポーク オリーブプレミアム」の価値維持・向上のための適切な知財管理を含む）

⑤**働き方改革等に伴うしわ寄せ** 取引先も働き方改革に対応できるよう、下請事業者に対して、適正なコスト負担を伴わない短納期発注や急な仕様変更を行いません。災害時等においては、下請事業者に取り引上一方的な負担を押し付けないように、また、事業再開時等には、できる限り取引関係の継続等に配慮します。

3. その他（任意記載）

記載なし

令和7年6月6日
有限会社藤沢市種豚センター
代表取締役 和田 尊